

## A 会場 (12月7日(金) 2日目)

**9:30~10:50 シンポジウム2：失語症治療のパラダイムシフト**  
**司会：前島伸一郎 (金城大学)**  
**種村 純 (川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科)**

- S2-1 認知神経心理学的アプローチにおける失語症治療の考え方 ……………100  
 新貝 尚子 (しんかい たかこ)  
 NTT東日本関東病院 リハビリテーション科
- S2-2 発話産生に対するアプローチ ……………101  
 浦野 雅世 (うらの まさよ)  
 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
- S2-3 失語症のニューロリハビリテーション研究、経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) による  
 言語機能改善 ……………102  
 井原 綾<sup>1</sup> (いはら あや)、種村 純<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国立研究開発法人情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学医療技術学部感覚矯正学科
- S2-4 失語症コミュニケーション訓練の実際—集団プログラムを通して— ……………103  
 今井 眞紀 (いまい まき)  
 横浜市総合リハビリテーションセンター
- S2-5 地域における失語症者への社会的支援～最近の動向～ ……………104  
 松田 江美子 (まつだ えみこ)  
 板橋区立おとしより保健福祉センター、武蔵野市障害者福祉センター、  
 NPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音

**11:00~12:00 教育講演 3** **司会：網本 和 (首都大学東京 人間健康科学研究科)**

- EL3 半側空間無視のリハビリテーションの原点とトピック～機能障害から生活障害へ～  
 ……………90  
 渕 雅子 (ふち まさこ)  
 東筑紫学園 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科

**12:10~13:00 サンドイッチセミナー 3**  
**司会：吉村 貴子 (京都学園大学 健康医療学部 言語聴覚学科)**

- SS3 表情認知の心理・神経メカニズム ……………120  
 佐藤 弥 (さとう わたる)  
 京都大学こころの未来研究センター

13:10~14:00 会長講演 司会：三村 將 (慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室)

PL 神経心理リハビリテーションの原点—症例研究から核を見出す— ……78  
種村 留美 (たねむら るみ)  
神戸大学生命・医学系保健学域リハビリテーション科学領域運動機能障害学分野

14:00~15:40 シンポジウム3：記憶障害におけるリハビリテーションの原点とトピック  
司会：船山 道隆 (足利赤十字病院 神経精神科)  
数井 裕光 (高知大学 医学部 神経精神科学教室)

S3-1 記憶の神経基盤からみたリハビリテーションの可能性 ……106  
梅田 聡 (うめだ さとし)  
慶應義塾大学 文学部 心理学研究室

S3-2 記憶の神経ネットワーク：視床健忘からの洞察 ……107  
西尾 慶之 (にしお よしゆき)  
東京都立松沢病院 精神科

S3-3 展望記憶のリハビリテーションとトピック ……108  
太田 信子 (おおた のぶこ)  
川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科

S3-4 認知症患者の記憶障害に対する適切な対応法—認知症ちえのわ net の結果から— ……109  
数井 裕光 (かずい ひろあき)  
高知大学 医学部 神経精神科学講座

15:40~16:40 教育講演4 司会：先崎 章 (東京福祉大学 社会福祉学部)

EL4 生活に結びついた遂行機能障害のリハビリテーション ……92  
早川 裕子 (はやかわ ゆうこ)  
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター リハビリテーション部

16:40~17:30 最旬講演 司会：鹿島 晴雄 (国際医療福祉大学大学院)

最旬講演 コミュニティーにおける認知症のリハビリテーション ……84  
池田 学 (いけだ まなぶ)  
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室

17:30~17:50 表彰式・閉会の辞

## B 会場 (12月7日(金) 2日目)

9:30~10:20 口演：認知リハ (2) 座長：深津 玲子 (国立障害者リハビリテーションセンター病院 臨床研究開発部)

- 2B1-1 受傷後8年を経て認知リハビリテーションを開始した軽度外傷性脳損傷の1例：  
 脳脊髄液減少症の影響を踏まえて .....229  
 伊佐治 友梨<sup>1</sup> (いさじ ゆり)、豊倉 穰<sup>2</sup>、上間 貴史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東海大学医学部附属大磯病院 診療協力部 リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>東海大学医学部附属大磯病院 リハビリテーション科
- 2B1-2 高次脳機能障害者の活動・社会参加に対する自立訓練の効果の検討 .....229  
 中岡 真弘<sup>1</sup> (なかおか まさひろ)、福尾 ひさみ<sup>1</sup>、別府 知代<sup>1</sup>、増田 基嘉<sup>1</sup>、  
 納谷 敦夫<sup>1,2</sup>、内藤 泰男<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター、<sup>2</sup>なやクリニック、  
<sup>3</sup>大阪府立大学大学院
- 2B1-3 視覚 cue と聴覚 cue の併用練習で、書字に改善がみられたパーキンソン病患者の一例  
 .....230  
 土佐 圭子<sup>1</sup> (とさ けいこ)、鈴木 康子<sup>1</sup>、矢部 恭子<sup>1</sup>、星 克司<sup>1</sup>、市川 忠<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>埼玉県総合リハビリテーションセンター 作業療法科、  
<sup>2</sup>埼玉県総合リハビリテーションセンター 神経内科
- 2B1-4 グループ訓練を通して内省変化とともに行動変容が伴った1事例について .....230  
 本多 伸行<sup>1,2</sup> (ほんだ のぶゆき)、古川 絵美<sup>3</sup>、堀江 勇太<sup>3</sup>、砂川 耕作<sup>1,2</sup>、  
 種村 留美<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>関西福祉科学大学、<sup>2</sup>神戸大学 生命・医療系保健学域、<sup>3</sup>綾部市立病院
- 2B1-5 右尾状核出血後に記憶障害が遷延した2例に対するリハビリテーション .....231  
 浦上 裕子 (うらかみ ゆうこ)、山本 正浩、森田 静香、北條 具仁、  
 百瀬 瑞穂、野口 玲子  
 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部

10:20~11:10 口演：認知リハ (3) 座長：橋本 律夫 (国際医療福祉大学病院 神経内科)

- 2B2-1 高次脳機能障害に関わる多機関から構成したチームによる支援 .....231  
 川上 寿一<sup>1</sup> (かわかみ じゅいち)、小西川 梨沙<sup>2</sup>、田邊 陽子<sup>2</sup>、三田村 麻奈<sup>2</sup>、  
 宮川 和彦<sup>2</sup>、中井 秀昭<sup>3</sup>、平井 昭代<sup>3</sup>、金子 秀明<sup>5</sup>、島田 司巳<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>滋賀県立リハビリテーションセンター、<sup>2</sup>社会福祉法人グロー、  
<sup>3</sup>滋賀県健康医療福祉部障害福祉課、<sup>4</sup>滋賀県健康医療福祉部 健康寿命推進課、  
<sup>5</sup>社会福祉法人さわらび福祉会、<sup>6</sup>滋賀県立障害者総合診療所

- 2B2-2 高次脳機能障害者の就労準備性からみた体力の構成要素比較 ……232  
 花田 信<sup>1</sup> (はなだ しんじ)、福尾 ひさみ<sup>1</sup>、中岡 真弘<sup>1</sup>、岩崎 道治<sup>1</sup>、  
 増田 基嘉<sup>1</sup>、納谷 敦夫<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター、<sup>2</sup>なやクリニック
- 2B2-3 てんかん患者の就労支援のためのアンケート調査第3報：  
 リハビリ希望者を困らせている症状についての検討 ……232  
 廣實 真弓<sup>1</sup> (ひろさね まゆみ)、逸見 功<sup>2</sup>、岩城 弘隆<sup>3,4</sup>、森田 好海<sup>5</sup>、  
 渡辺 雅子<sup>5</sup>、兼本 浩祐<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>帝京平成大学 言語聴覚学科、<sup>2</sup>日本赤十字看護大学 看護学科、  
<sup>3</sup>湊病院 北東北てんかんセンター、  
<sup>4</sup>東北大学大学院 医学系研究科 てんかん学分野、<sup>5</sup>新宿神経クリニック、  
<sup>6</sup>愛知医科大学病院 精神神経科
- 2B2-4 集団認知リハビリテーションにおける  
 聞き返し訓練〈確認の技 verification technique〉の使用効果 ……233  
 蜂谷 敦子<sup>1</sup> (はちや あつこ)、新藤 千夏<sup>1</sup>、塚越 千尋<sup>1,2</sup>、俵 あゆみ<sup>1</sup>、  
 江尻 知穂<sup>1</sup>、納谷 敦夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>なやクリニック、<sup>2</sup>藍野大学 医療保健学部
- 2B2-5 知的・発達障害を伴う脳外傷者が集団に参加できるようになるまで  
 一受傷後7年半の経過より一 ……233  
 俵 あゆみ<sup>1</sup> (たわら あゆみ)、佐伯 裕美<sup>1</sup>、江尻 知穂<sup>1</sup>、蜂谷 敦子<sup>1</sup>、  
 新藤 千夏<sup>1</sup>、李 さおり<sup>1</sup>、納谷 敦夫<sup>1</sup>、塚越 千尋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>なやクリニック、<sup>2</sup>藍野大学 医療保健学部

12:10~13:00 サンドイッチセミナー4 司会：平山 和美 (山形県立保健医療大学 作業療法学科)

- SS4 認知症診療に必要な脳画像の見かた：病理診断を踏まえて ……122  
 石原 健司 (いしはら けんじ)  
 旭神経内科リハビリテーション病院

14:00~14:50 口演：運転  
 座長：石合 純夫 (札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座)

- 2B3-1 Stroke Drivers' Screening Assessment において  
 運転不合格判定となった1症例を経験して ……234  
 坪井 理佳<sup>1</sup> (つばい りか)、北村 拓海<sup>2</sup>、和田 郁雄<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大学病院 リハビリテーション技術科、<sup>2</sup>脳神経外科
- 2B3-2 失語症者の自動車運転適性判定時に注意が必要な検査の実車評価合格の目安の検討  
 ……234  
 加藤 徳明<sup>1</sup> (かとう のりあき)、飯田 真也<sup>2</sup>、中藤 麻紀<sup>3</sup>、岡崎 哲也<sup>4</sup>、佐伯 覚<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>産業医科大学 リハビリテーション医学講座、  
<sup>2</sup>産業医科大学病院 リハビリテーション部、<sup>3</sup>産業医科大学病院、  
<sup>4</sup>産業医科大学若松病院 リハビリテーション科

- 2B3-3 簡易自動車運転シミュレーターで“適性なし”となった急性期患者の特徴 ……235  
 養田 健太<sup>1</sup> (みのだ けんた)、和田 邦泰<sup>2</sup>、清永 紗知<sup>1</sup>、那須 真由美<sup>1</sup>、  
 宮川 佳代<sup>1</sup>、大道 奈央<sup>1</sup>、池崎 寛人<sup>3</sup>、兒玉 成博<sup>3</sup>、立野 伸一<sup>1</sup>、上木原 宗一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>熊本赤十字病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>熊本赤十字病院 神経内科、  
<sup>3</sup>熊本保健科学大学 リハビリテーション科 言語聴覚専攻
- 2B3-4 教官と OT の実車教習における見解の差異 ……235  
 伊藤 大貴 (いとう だいき)、東 久也、川本 徹、江崎 貞治、木村 隆文  
 総合大雄会病院 リハビリテーション科
- 2B3-5 失語症患者における道路交通標識の認知  
 一J-SDSA の下位検査「道路標識」と SLTA による検討一 ……236  
 井上 裕之<sup>1</sup> (いのうえ ひろゆき)、金井 日菜子<sup>1</sup>、河村 千映<sup>1</sup>、藤永 直美<sup>1</sup>、  
 峯下 圭子<sup>1</sup>、平野 奈津子<sup>1</sup>、武原 格<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京都リハビリテーション病院 言語療法・心理科、  
<sup>2</sup>東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部

15:10~16:00	口演：半側空間無視 (1)	座長：武田 克彦 (文京認知神経科学研究所)
-------------	---------------	------------------------

- 2B4-1 脳血管障害患者における受動的注意システムの新たな評価法の開発  
 ～シングルケースデザイン～ ……236  
 本村 和也<sup>12</sup> (もとむら かずや)、網本 和<sup>2</sup>、田村 龍太郎<sup>1</sup>、鴻 真一郎<sup>1</sup>、  
 岩本 康之介<sup>13</sup>  
<sup>1</sup>国家公務員共済組合連合会 三宿病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 理学療法科学域、  
<sup>3</sup>国家公務員共済組合連合会 三宿病院 神経内科
- 2B4-2 半側空間無視に対する Mixed Reality 選択抹消課題の妥当性 ……237  
 橋本 晋吾<sup>12</sup> (はしもと しんご)、長谷 公隆<sup>1</sup>、種村 留美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学附属病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>神戸大学 生命・医学系保健学域
- 2B4-3 脳出血により物体中心無視を認めた症例に対する  
 没入型仮想現実を用いた手がかり刺激呈示システムの適用 ……237  
 大平 雅弘<sup>1</sup> (おおひら まさひろ)、萩原 晨功<sup>2</sup>、安田 和弘<sup>3</sup>、富山 美咲<sup>1</sup>、  
 齋地 健太<sup>2</sup>、岩田 浩康<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>横浜新緑総合病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>早稲田大学 総合機械工学科 総合機械工学専攻、  
<sup>3</sup>早稲田大学 理工学術院総合研究所
- 2B4-4 左半側空間無視患者における線分二等分試験の所要時間について ……238  
 佐藤 廉一<sup>1</sup> (さとう れんいち)、温井 啓太<sup>12</sup>、石合 純夫<sup>23</sup>  
<sup>1</sup>新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座、  
<sup>3</sup>札幌医科大学附属病院リハビリテーション部

- 2B4-5 点定位課題を用いても病巣同側無視は起こるのか？  
 一右大脳半球損傷患者1例に対する検討— ……238  
 太田 久晶<sup>1</sup> (おおた ひさあき)、勝浦 駿平<sup>2</sup>、石合 純夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科、  
<sup>2</sup>札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>3</sup>札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座

16:00~16:50 口演：半側空間無視 (2)  
 座長：太田 信子 (川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科)

- 2B5-1 左半側空間無視患者の視覚探索に音声刺激が及ぼす影響 ……239  
 上地 桃子<sup>1</sup> (うえち ももこ)、阿部 晶子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学病院 リハビリテーション室、<sup>2</sup>国際医療福祉大学 言語聴覚学科
- 2B5-2 手話の読み取りに対する左半側空間無視の影響 ……239  
 竹本 直也<sup>1</sup> (たけもと なおや)、川崎 典子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚科、  
<sup>2</sup>東京女子大学 現代教養学部 心理・コミュニケーション学科
- 2B5-3 同名半盲を合併し視知覚・視空間認知障害を認めた症例に対しての  
 体性感覚情報を活用した介入の検討 ……240  
 久保 拓哉<sup>1</sup> (くぼ たくや)、小柳 ちひろ<sup>1</sup>、淵 雅子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部
- 2B5-4 半側空間無視症例における能動的なロッド調整課題が臨床所見を改善させた一症例  
 ……240  
 石神 佳祐<sup>1</sup> (いしがみ けいすけ)、澤 広太<sup>1,2</sup>、網本 和<sup>2</sup>、福岡 宏之<sup>1</sup>、  
 宮本 琢也<sup>1</sup>、鈴木 陸也<sup>1</sup>、石井 千佳<sup>1</sup>、末永 達也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>竹の塚脳神経リハビリテーション病院、<sup>2</sup>首都大学東京大学院
- 2B5-5 半側空間無視の症状分析から治療方法を選択し、無視症状の軽減に至った一例 ……241  
 堀川 康平<sup>1</sup> (ほりかわ こうへい)、金森 雅<sup>1</sup>、南都 智紀<sup>1</sup>、斎藤 翔太<sup>1</sup>、  
 中尾 雄太<sup>1</sup>、栄元 一記<sup>1</sup>、内山 佑紀<sup>2</sup>、道免 和久<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>兵庫医科大学病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>兵庫医科大学 リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>兵庫医科大学 リハビリテーション医学教室

16:50~17:30 口演：半側空間無視 (3) 座長：前島伸一郎 (金城大学)

- 2B6-1 バリント症候群と左半側空間無視では電子機器の数字入力の違いが生じるか？ ……241  
 砂川 耕作<sup>1,2,3</sup> (すながわ こうさく)、種村 留美<sup>3</sup>、中川 良尚<sup>4</sup>、船山 道隆<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>関西福祉科学大学 保健医療学部、<sup>2</sup>上ヶ原病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>神戸大学 生命・医学系保健学域、<sup>4</sup>江戸川病院 リハビリテーション科、  
<sup>5</sup>足利赤十字病院 精神神経科

- 2B6-2 **バリント症候群を呈した症例の視覚失調に対する視覚遮断による影響** ……………242  
菅原 光晴<sup>1</sup> (すがわら みつはる)、前田 眞治<sup>2</sup>、原 麻理子<sup>3</sup>、山本 潤<sup>4</sup>、  
近藤 智<sup>2,5</sup>  
<sup>1</sup>清伸会ふじの温泉病院、<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院 リハビリテーション学分野、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学 福岡医療学部 作業療法学科、  
<sup>4</sup>国際医療福祉大学 小田原医療学部 作業療法学科、  
<sup>5</sup>厚木市立病院 リハビリテーション技術課
- 2B6-3 **右頭頂葉皮質下出血により運動盲を呈した症例の内省変化の経過** ……………242  
阿部 彩花<sup>1,2</sup> (あべ あやか)、大畑 秀央<sup>1</sup>、北條 具仁<sup>1</sup>、浦上 裕子<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 秩父学園、  
<sup>3</sup>国立障害者リハビリテーションセンター病院 第1診療部 精神科
- 2B6-4 **無関心症状を呈する右半球損傷者の神経心理学的特徴** ……………243  
小浜 尚也<sup>1,2</sup> (おばま なおや)、種村 純<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科、  
<sup>3</sup>川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科

## C 会場 (12月7日(金) 2日目)

9:30~10:10 口演：視覚性失認 座長：平山 和美 (山形県立保健医療大学 作業療法学科)

- 2C1-1 左後頭頭頂葉の陳旧性病変に右側頭葉の脳出血が加重し、  
相対失認と同時失認と思われる症候を呈した症例 ……………247  
堀池 正太<sup>1</sup> (ほりいけ しょうた)、本村 絢子<sup>2</sup>、辻内 高士<sup>2</sup>、飯島 健太郎<sup>3</sup>、  
深川 和利<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人宏潤会 大同病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>社会医療法人宏潤会 大同病院 脳神経外科、<sup>3</sup>公立陶生病院 脳神経外科
- 2C1-2 右頭頂側頭葉皮質下出血により、街並失認と道順障害、同時失認を呈した1例 ……………247  
楠田 耕平<sup>1,2</sup> (くすだ こうへい)、種村 留美<sup>2</sup>、磯野 理<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>京都民医連第二中央病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>神戸大学 生命・医学系保健学域、<sup>3</sup>京都民医連第二中央病院 神経内科
- 2C1-3 線画のカテゴリー分類はできるが、非実在物の判断ができなかった視覚失認の一例  
……………248  
藤永 直美<sup>1</sup> (ふじなが なおみ)、井上 裕之<sup>1</sup>、河村 千映<sup>1</sup>、奥平 奈保子<sup>1</sup>、  
村松 太郎<sup>2</sup>、三村 将<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語療法・心理科、  
<sup>2</sup>慶応義塾大学 医学部 精神神経科学教室
- 2C1-4 内側側頭葉てんかんに対する側頭葉前方部切除術後患者の顔認知機能の検討 ……………248  
細川 大瑛<sup>1</sup> (ほそかわ ひろあき)、西尾 慶之<sup>1</sup>、須永 敦子<sup>2</sup>、川崎 伊織<sup>1,3</sup>、  
平山 和美<sup>4</sup>、岩崎 真樹<sup>5</sup>、中里 信和<sup>6</sup>、鈴木 匡子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学 医学系研究科 高次機能障害学分野、  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院 精神科、  
<sup>3</sup>国立病院機構 仙台西多賀病院 リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>山形県立保健医療大学 作業療法学科、  
<sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科、  
<sup>6</sup>東北大学医学系研究科 てんかん科

10:10~10:50 口演：視覚性失認・その他 座長：鈴木 匡子 (東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学)

- 2C2-1 非定型的な角度から見た物品の認知の障害により日常生活に支障をきたした  
Posterior Cortical Atrophy の一例 ……………249  
末廣 聖<sup>1</sup> (すえひろ たかし)、吉山 顕次<sup>1</sup>、鈴木 麻希<sup>2</sup>、堀田 牧<sup>1</sup>、埜本 大喜<sup>1</sup>、  
佐藤 俊介<sup>1</sup>、東 眞吾<sup>1</sup>、松本 拓也<sup>1</sup>、欠田 恭輔<sup>1</sup>、平山 和美<sup>3</sup>、森 悦朗<sup>2</sup>、  
池田 学<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学分野、  
<sup>2</sup>大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・精神神経医学、  
<sup>3</sup>山形県立保健医療大学 作業療法学科

- 2C2-2 左頭頂後頭葉皮質下出血により道順障害と空間性失書を来した1例 ……249  
 岩切 夏華<sup>1</sup> (いわきり なつか)、石田 名奈<sup>1</sup>、田端 啓那<sup>1</sup>、田口 智子<sup>1</sup>、  
 須崎 有信<sup>1</sup>、ナクラ 早都子<sup>1</sup>、稲富 雄一郎<sup>2</sup>、中島 誠<sup>3</sup>、米原 敏郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>済生会熊本病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>済生会熊本病院 神経内科、  
<sup>3</sup>熊本大学大学院 神経内科
- 2C2-3 右前頭葉病変における高次脳機能と時計描画の関連についての検討 ……250  
 澤木 優治<sup>1</sup> (さわき まさはる)、山本 裕泰<sup>1</sup>、本村 和也<sup>2</sup>、原 大介<sup>1</sup>、  
 小山 恭平<sup>1</sup>、木全 由佳里<sup>1</sup>、川村 藍<sup>1</sup>、門野 泉<sup>3</sup>、若林 俊彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学、  
<sup>3</sup>名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科
- 2C2-4 統合失調症患者の修正版 The Tinkertoy Test と社会機能の関連性の検討 ……250  
 中村 泰久<sup>1</sup> (なかむら やすひさ)、穴水 幸子<sup>2</sup>、山中 武彦<sup>1</sup>、石井 文康<sup>1</sup>、  
 三村 将<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、  
<sup>3</sup>慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室

11:00~12:00	口演：情動障害・精神症状	座長：村井 俊哉 (京都大学 精神医学)
-------------	--------------	----------------------

- 2C3-1 右大脳半球グリオーマ手術後に生じる感情の障害の特徴は摘出領域により異なる ……251  
 中嶋 理帆<sup>1</sup> (なかじま りほ)、木下 雅史<sup>2</sup>、沖田 浩一<sup>3</sup>、中田 光俊<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学 リハビリテーション科学領域、<sup>2</sup>金沢大学 脳神経外科、  
<sup>3</sup>金沢大学附属病院 リハビリテーション部
- 2C3-2 なぜ間違える？—人物誤認が持続した右被殻出血の1例— ……251  
 青野 智仁<sup>1</sup> (あおの ともひと)、長谷川 昌信<sup>1</sup>、温井 啓太<sup>12</sup>、石合 純夫<sup>23</sup>  
<sup>1</sup>新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座、  
<sup>3</sup>札幌医科大学付属病院リハビリテーション部
- 2C3-3 橋底部病変による「病的笑い泣き」の2例：  
 皮質橋小脳経路損傷による情動調節障害について ……252  
 高倉 朋和<sup>123</sup> (たかくら ともかず)、佐藤 美希<sup>2</sup>、折笠 沙絵<sup>2</sup>、生澤 瑞樹<sup>2</sup>、  
 岩田 瑞季<sup>2</sup>、橋本 実<sup>2</sup>、藤原 俊之<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>医療法人社団友志会 石橋総合病院 リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>順天堂大学 医学部 リハビリテーション医学研究室

- 2C3-4 **社会的行動障害一症例に対する Goal management training (GMT) の試み** ……252  
 原 有希<sup>1</sup> (はら ゆき)、窪田 正大<sup>2</sup>、原口 友子<sup>1</sup>、松本 航<sup>3</sup>、堀ノ内 啓介<sup>4</sup>、  
 高田 昌実<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人玉昌会 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>鹿児島大学 医学部 保健学科、<sup>3</sup>医療法人玉昌会 加治木温泉病院 内科、  
<sup>4</sup>医療法人玉昌会 加治木温泉病院 リハビリテーション科
- 2C3-5 **右後頭葉皮質下出血後に離人症/現実感消失症と Cotard 症候群を呈し、  
 長期支援により就労に至った若年の1例** ……253  
 目黒 祐子<sup>1</sup> (めぐろ ゆうこ)、菊池 大一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東北医科薬科大学病院 リハビリテーション部 言語心理部門、  
<sup>2</sup>東北医科薬科大学 老年神経内科学
- 2C3-6 **強迫泣き笑い (forced laughing and crying) を呈した3症例の検討** ……253  
 宇野 辰哉<sup>1</sup> (うの たつや)、黒木 康<sup>1</sup>、後谷 直樹<sup>1</sup>、湯永 正敏<sup>1</sup>、濱田 博文<sup>1,2</sup>、  
 松下 兼一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>クオラリハビリテーション病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>クオラリハビリテーション病院あいら

14:00~14:30 **招宴講演2 (コーヒーブレイクセミナー)**  
**司会：宮原 智子 (NPO 法人宝塚高次脳機能障害者「共生の会」地域活動支援センター Wakaba)**

招宴講演2 **Flavor of Life~当事者が語る 高次脳機能障害から珈琲マイスターまでの軌跡~** …114  
 佐藤 亮太 (さとう りょうた)

16:00~16:40 **口演：神経心理検査 (1)** **座長：緑川 晶 (中央大学 文学部)**

- 2C4-1 **遅延フィードバックが脳血管障害例の座圧中心および座位バランスへ及ぼす影響** …254  
 澤 広太<sup>1</sup> (さわ こうた)、網本 和<sup>2</sup>、志田 航平<sup>2</sup>、石神 佳祐<sup>1</sup>、宮本 琢也<sup>1</sup>、  
 石井 千佳<sup>1</sup>、鈴木 陸也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>竹の塚脳神経リハビリテーション病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>首都大学東京大学院
- 2C4-2 **ウォータールー利き足質問紙 (WFQ) による利き足の判定** ……254  
 山下 光 (やました ひかり)  
 愛媛大学 教育学部
- 2C4-3 **「何から描き始めたのか？」—Rey 複雑図形 (ROCF) 描画過程のタイプ分類の試み** …255  
 依光 美幸<sup>1</sup> (よりみつ みゆき)、塚田 賢信<sup>1</sup>、天野 京子<sup>1</sup>、長尾 卯乃<sup>1</sup>、  
 幕内 充<sup>2</sup>、廣瀬 翔平<sup>3</sup>、矢藤 優子<sup>3</sup>、山田 良治<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>がん・感染症センター都立駒込病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部 高次脳機能障  
 害研究室、<sup>3</sup>立命館大学 総合心理学部、  
<sup>4</sup>がん・感染症センター都立駒込病院 脳神経外科

- 2C4-4 回復期脳損傷者の CPT 結果に対する新たな解析法の提案とその有効性の検証  
**Self-Organizing Map を用いた分析** .....255  
 牛尾 真也<sup>1,2</sup> (うしお しんや)、岡本 要<sup>3</sup>、三澤 秀明<sup>3</sup>、常盤 達司<sup>4</sup>、  
 矢田 かおり<sup>5</sup>、宮口 英樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院 自立訓練  
 科、<sup>2</sup>広島大学大学院 医歯薬保健学研究科、<sup>3</sup>宇部工業高等専門学校 電気工学科、  
<sup>4</sup>広島市立大学大学院 情報科学研究科、  
<sup>5</sup>地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院 リハビリ  
 テーション技術科

16:50~17:30 口演：神経心理検査 (2)  
 座長：吉村 貴子 (京都学園大学 健康医療学部 言語聴覚学科)

- 2C5-1 失語症者の発話に伴う身振り (第3報) 一身振り制限条件における健常データの検討—  
 .....256  
 伊藤 敬市<sup>1</sup> (いとう けいいち)、小嶋 知幸<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>武蔵野徳洲会病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>武蔵野大学大学院 人間社会研究科、  
<sup>3</sup>市川高次脳機能障害相談室
- 2C5-2 健常者における年齢、脳の器質的加齢変化、及び高次脳機能との関係について .....256  
 水野 聡美<sup>1</sup> (みずの さとみ)、前澤 聡<sup>2,3</sup>、大嶽 れい子<sup>3</sup>、原 一洋<sup>4</sup>、  
 渡辺 宏久<sup>3,4</sup>、二村 美也子<sup>5</sup>、藤井 正純<sup>6</sup>、横井 紀久子<sup>1</sup>、岡田 久<sup>1,7</sup>、祖父江 元<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>名古屋医療センター リハビリテーション科、<sup>2</sup>名古屋大学 脳神経外科、  
<sup>3</sup>名古屋大学 脳とこころの研究センター、<sup>4</sup>名古屋大学 神経内科、  
<sup>5</sup>福島県立医科大学付属病院 リハビリテーションセンター、  
<sup>6</sup>福島県立医科大学 脳神経外科、<sup>7</sup>名古屋医療センター 神経内科、  
<sup>8</sup>名古屋大学大学院 医学系研究科
- 2C5-3 高齢者における顔一名前の記銘方略：意味情報との連合化からの検討 .....257  
 大森 智裕<sup>1</sup> (おおもり とみひろ)、藤田 郁代<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>川越リハビリテーション病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科
- 2C5-4 健常者における言語性保続の発生に関する検討  
 一語の意味的要因と時間的要因を用いて .....257  
 石川 幸伸<sup>1</sup> (いしかわ ゆきのぶ)、鈴木 倫<sup>2</sup>、柳 有紀子<sup>3</sup>、くりはら みゆき<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 言語聴覚学科、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科、  
<sup>3</sup>日本福祉教育専門学校 言語聴覚療法学科、  
<sup>4</sup>国際医療福祉大学山王病院 東京ボイスセンター

## D 会場 (12月7日(金) 2日目)

9:30~10:20 口演：失語症・その他治療 座長：能登谷晶子（京都学園大学 健康医療学部）

- 2D1-1 **Melodic Intonation Therapy 日本語版における脳活動の変化 その1：復唱での検討** ……261  
 ……  
 志賀 真理子<sup>1</sup>（しが まりこ）、中野 千鶴<sup>1</sup>、佐藤 正之<sup>1,2</sup>、田部井 賢一<sup>2,3</sup>、  
 伊藤 愛<sup>4,5</sup>、加藤 奈津子<sup>4,5</sup>、下地 康雄<sup>6</sup>、佐久間 肇<sup>7</sup>、富本 秀和<sup>1,4,5</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター、  
<sup>2</sup>三重大学大学院 医学系研究科 認知症医療学講座、  
<sup>3</sup>三重大学医学部附属病院 認知症センター、<sup>4</sup>三重大学医学部附属病院 神経内科、  
<sup>5</sup>三重大学大学院 医学系研究科 神経病態内科学、  
<sup>6</sup>鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科、<sup>7</sup>三重大学医学部附属病院 放射線診断科
- 2D1-2 **Melodic Intonation Therapy 日本語版による脳活動の変化 その2：呼称での検討** ……261  
 加藤 奈津子<sup>1</sup>（かとう なつこ）、佐藤 正之<sup>3</sup>、志賀 真理子<sup>2</sup>、中野 千鶴<sup>2</sup>、  
 田部井 賢一<sup>3</sup>、伊藤 愛<sup>1</sup>、松浦 慶太<sup>1</sup>、下地 康雄<sup>5</sup>、佐久間 肇<sup>6</sup>、富本 秀和<sup>1,2,3,4</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 神経内科、  
<sup>2</sup>三重大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター、  
<sup>3</sup>三重大学医学部 認知症医療学講座、<sup>4</sup>三重大学医学部附属病院 認知症センター、  
<sup>5</sup>鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科、<sup>6</sup>三重大学医学部附属病院 放射線科
- 2D1-3 **50音系列の利用が有効であった左側頭葉出血にて重度失語症を呈した1症例** ……262  
 砥綿 敬史（とわた たかし）、多田 英美  
 東海大学医学部附属病院 リハビリテーション技術科
- 2D1-4 **仮名1文字の書取能力向上のために漢字1文字をキーワードとした訓練の有効性** ……262  
 大森 史隆<sup>1</sup>（おおもり ふみたか）、水本 豪<sup>2</sup>、橋本 幸成<sup>3</sup>、高橋 大<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>福岡歯科大学医科歯科総合病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>熊本保健科学大学 共通教育センター、  
<sup>3</sup>JCHO熊本総合病院 リハビリテーション部、  
<sup>4</sup>医療法人原三信病院 リハビリテーション科
- 2D1-5 **認知リハ課題間の構造、タブレット用アプリケーション成績の検討** ……263  
 時田 春樹<sup>1</sup>（ときだ はるき）、池野 雅裕<sup>1</sup>、太田 信子<sup>1</sup>、用稲 丈人<sup>2</sup>、  
 戸田 淳氏<sup>1</sup>、種村 純<sup>1</sup>、八木 真美<sup>3</sup>、平岡 崇<sup>4</sup>、花山 耕三<sup>4</sup>、柏 修平<sup>5</sup>、  
 佐々木 美奈<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科言語聴覚専攻、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学 医療技術学部 リハビリテーション学科作業療法専攻、  
<sup>3</sup>川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター言語聴覚療法部門、  
<sup>4</sup>川崎医科大学附属病院 リハビリテーション科、<sup>5</sup>株式会社インサイト

- 2D2-1 重度ブローカ失語患者における発話分析  
 一音声の呈示間隔の違いは復唱成績を変化させるのかー ……………263  
 川口 源水<sup>12</sup> (かわぐち げんすい)、大槻 美佳<sup>3</sup>、中川 賀嗣<sup>4</sup>、杉原 俊一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>札幌秀友会病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>北海道大学大学院 保健科学院、  
<sup>3</sup>北海道大学大学院 保健科学研究所、<sup>4</sup>北海道医療大学 リハビリテーション科学部
- 2D2-2 心原性脳塞栓症により、発声不能、発語不能、嚥下不能を呈した1症例 ……………264  
 山本 真由美 (やまもと まゆみ)  
 市立砺波総合病院 総合リハビリテーションセンター
- 2D2-3 発声失行を合併した失語症例の介入経過 ……………264  
 田中 麻衣子 (たなか まいこ)、木村 亮太  
 磯子中央病院 リハビリテーション科
- 2D2-4 左中心後回中下部を中心とした梗塞により残存した発語失行 ……………265  
 三谷 尚子<sup>1</sup> (みたに なおこ)、中村 公亮<sup>2</sup>、清水 崇紘<sup>3</sup>、杉本 泉<sup>4</sup>、櫻井 靖久<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>三井記念病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>三井記念病院 循環器内科、  
<sup>3</sup>東京大学 神経内科、<sup>4</sup>虎の門病院分院 神経内科、<sup>5</sup>三井記念病院 神経内科

- 2D3-1 超皮質性運動失語の改善経過—呼称における意味性反応の質的变化から— ……………265  
 笹嶋 侑子<sup>1</sup> (ささじま ゆうこ)、中川 良尚<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、  
 中村 菜都美<sup>1</sup>、原 未来<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>江戸川病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>足利赤十字病院 神経精神科、  
<sup>3</sup>江戸川病院 神経内科
- 2D3-2 右前大脳動脈領域の脳梗塞で吃音症状や補完現象など、多彩な言語症状を呈した一例  
 ……………266  
 市本 将也<sup>12</sup> (いちもと まさや)、時田 春樹<sup>12</sup>、松浦 大輔<sup>3</sup>、種村 純<sup>12</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 リハビリテーション課、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科 感覚矯正学専攻、  
<sup>3</sup>社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 リハビリテーション科
- 2D3-3 右中大脳動脈領域の脳梗塞後に Foreign Accent Syndrome を呈した症例 ……………266  
 藤田 頼子<sup>1</sup> (ふじた よりこ)、瀧澤 透<sup>2</sup>、上田 敬太<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>京都市地域リハビリテーション推進センター 支援施設課、  
<sup>2</sup>京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻、  
<sup>3</sup>京都大学医学部附属病院 精神科神経科
- 2D3-4 右前頭葉皮質病変によりプロソディの障害が残存した1例 ……………267  
 為季 周平<sup>12</sup> (ためすえ しゅうへい)、渡辺 大貴<sup>2</sup>、竹田 和也<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>姫路獨協大学 医療保健学部 言語聴覚療法学科、  
<sup>2</sup>社会医療法人緑社会 金田病院 リハビリテーション科

14:30~15:30 口演：失語症 病型 (1)  
座長：水田 秀子 (藤井会リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

- 2D4-1 呼称・音読・復唱などの命題的発話と自発話に乖離が見られた  
超皮質性運動失語の経過 .....267  
内山 豊樹 (うちやま とよき)、天谷 智子、東 悦子、清水 理英、奥澤 奈保美  
神戸リハビリテーション病院
- 2D4-2 進行性発話失行が疑われた症例の発症経過と発話失行の特徴 .....268  
小西 海香<sup>12</sup> (こにし みか)、百田 友紀<sup>12</sup>、荒川 千晶<sup>2</sup>、斎藤 文恵<sup>1</sup>、  
船山 道隆<sup>3</sup>、三村 将<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室、  
<sup>2</sup>東京都済生会中央病院 認知症疾患医療センター、<sup>3</sup>足利赤十字病院 神経精神科
- 2D4-3 発話において英単語を多く認めた失語症の1例 .....268  
黒川 翔<sup>1</sup> (くろかわ しょう)、若松 千裕<sup>1</sup>、相原 伸子<sup>1</sup>、石合 純夫<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座
- 2D4-4 Broca 領域限局病変ではないが Broca 領域失語の範疇と考えられた1症例 .....269  
大高 明夫 (おおたか あきお)、前島 ちか、隅谷 政  
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
- 2D4-5 流暢な英語の発話が出現した失語症の一例 .....269  
西川 奈央人<sup>1</sup> (にしかわ なおと)、安居 和輝<sup>2</sup>、種村 純<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人清仁会 シミズ病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学大学院 医療技術部研究科
- 2D4-6 発話失行・口腔顔面失行を伴う重度失語症の訓練経過  
～歌と詞の音読が表出面に与える影響について～ .....270  
田中 純香 (たなか すみか)  
介護老人保健施設 厚生会 川口ケアセンター

15:30~16:30 口演：失語症 病型 (2)  
座長：中村 光 (岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科)

- 2D5-1 「いただきます」は円滑に復唱できるが「い」「た」「だ」など単音節の復唱や  
意図的発話に難渋した伝導失語症例 .....270  
後藤 智尋<sup>1</sup> (ごとう ちひろ)、関野 とも子<sup>2</sup>、山崎 勝也<sup>3</sup>、高野 裕輝<sup>2</sup>、  
蜂須 由佳<sup>3</sup>、菅波 美穂<sup>4</sup>、鈴木 みゆき<sup>56</sup>、小宮 桂治<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>初台リハビリテーション病院 リハケア部、<sup>2</sup>日本福祉教育専門学校、  
<sup>3</sup>済生会東神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーションセラピスト科、  
<sup>4</sup>和光リハビリテーション病院 リハビリテーション科、  
<sup>5</sup>日本マイクロソフト株式会社 エンタープライズサービス部門、  
<sup>6</sup>明治大学 経営学部、<sup>7</sup>ながせき頭痛クリニック 神経心理臨床研究室

- 2D5-2 呼称場面で目標語の上位語を多く産生した流暢性失語の一例 ……271  
元木 雄一郎<sup>1</sup> (もとき ゆういちろう)、武井 徳子<sup>1</sup>、赤池 絢<sup>1</sup>、東川 麻里<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>北里大学 医療衛生学部
- 2D5-3 意味理解障害を中核とする流暢性失語一例の抽象語読解に関する検討 ……271  
中村 菜都美<sup>1</sup> (なかむら なつみ)、中川 良尚<sup>1</sup>、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、  
岩佐 香菜美<sup>1</sup>、原 未来<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>江戸川病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>足利赤十字病院 神経精神科、  
<sup>3</sup>江戸川病院 神経内科
- 2D5-4 左被殻出血後、記号素性錯語を呈した1例 ……272  
静 智弘 (しずか ともひろ)、梅本 真理子  
公立那賀病院 リハビリテーション科
- 2D5-5 左側頭葉と前頭葉に独立した病変を有し、  
重度の超皮質性感覚失語に加えて発話の滞りを呈した一例 ……272  
内田 信也<sup>1</sup> (うちだ しんや)、岡田 侑里香<sup>2,3</sup>、佐藤 健士郎<sup>3</sup>、菅野 洋<sup>4,5</sup>、  
藤田 郁代<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学熱海病院 リハビリテーション部、  
<sup>4</sup>国際医療福祉大学 医学部 脳神経外科学、<sup>5</sup>国際医療福祉大学熱海病院 脳神経外科
- 2D5-6 特異なジャルゴン様発話を呈した失語症の1例 ……273  
坪井 丈治<sup>1,2</sup> (つばい たけはる)、辰巳 寛<sup>3</sup>、山本 正彦<sup>3</sup>、福岡 久明<sup>1</sup>、  
豊島 義哉<sup>1</sup>、片山 泰司<sup>4</sup>、波多野 和夫<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構東名古屋病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>愛知学院大学大学院 心身科学部研究科健康科学専攻、<sup>3</sup>愛知学院大学 心身科学部、  
<sup>4</sup>独立行政法人国立病院機構東名古屋病院 神経内科、<sup>5</sup>菰野聖十字の家診療所

16:30~17:30	口演：失語症 病型 (3)	座長：田中 春美 (関西電力病院 リハ部)
-------------	---------------	-----------------------

- 2D6-1 音韻性錯語と不規則な音の歪みが目立ったが目標語のモーラ数想起は可能な  
交叉性失語の一例 ……273  
佐々木 大輔<sup>1</sup> (ささき だいすけ)、大橋 知記<sup>1</sup>、本間 崇彦<sup>1</sup>、佐藤 卓也<sup>1</sup>、  
小股 整<sup>2</sup>、武石 さつき<sup>3</sup>、今村 徹<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚科、  
<sup>2</sup>新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>豊浦病院 リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健学専攻 言語聴覚学分野

- 2D6-2 右下頭頂小葉と大脳基底核に病巣を有する交叉性失語  
—重度の言語症状と右半球症状を呈した1例—……………274  
青木 健太<sup>1</sup> (あおき けんた)、塚本 能三<sup>2</sup>、琴浦 輝将<sup>1</sup>、寺本 彩華<sup>1</sup>、末本 浩基<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人裕紫会 中谷病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科、  
<sup>3</sup>医療法人裕紫会 中谷病院 内科
- 2D6-3 左上側頭回病変を主座とする流暢性失語例の回復過程—呼称分析を中心に—……………274  
辻井 美帆<sup>1</sup> (つじい みほ)、内山 良則<sup>1</sup>、水田 秀子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>藤井会リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- 2D6-4 負荷のかかる場面で非流暢発話が顕著となる伝導失語一例の諸検討その1。  
数量的記述に基づく発話特徴の分析……………275  
菅波 美穂<sup>1</sup> (すがなみ みほ)、関野 とも子<sup>2</sup>、山崎 勝也<sup>3</sup>、高野 裕輝<sup>2</sup>、  
蜂須 由佳<sup>3</sup>、後藤 智尋<sup>4</sup>、鈴木 みゆき<sup>5,6</sup>、小宮 桂治<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>和光リハビリテーション病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>日本福祉教育専門学校、  
<sup>3</sup>済生会東神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーションセラピスト科、  
<sup>4</sup>初台リハビリテーション病院 リハケア部、  
<sup>5</sup>日本マイクロソフト株式会社 エンタープライズサービス部門、  
<sup>6</sup>明治大学 経営学部、<sup>7</sup>ながせき頭痛クリニック 神経心理臨床研究室
- 2D6-5 負荷のかかる場面で非流暢発話が顕著となる伝導失語一例の諸検討その2。  
復唱障害の機序についての検討……………275  
高野 裕輝<sup>1</sup> (たかの ひろあき)、関野 とも子<sup>1</sup>、山崎 勝也<sup>2</sup>、蜂須 由佳<sup>2</sup>、  
菅波 美穂<sup>3</sup>、後藤 智尋<sup>4</sup>、鈴木 みゆき<sup>5,6</sup>、小宮 桂治<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>日本福祉教育専門学校、  
<sup>2</sup>済生会東神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーションセラピスト科、  
<sup>3</sup>和光リハビリテーション病院 リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>初台リハビリテーション病院 リハケア部、  
<sup>5</sup>日本マイクロソフト株式会社 エンタープライズサービス部門、  
<sup>6</sup>明治大学 経営学部、<sup>7</sup>ながせき頭痛クリニック 神経心理臨床研究室
- 2D6-6 左視床梗塞発症 3.5 か月後に右前頭葉白質に梗塞を生じ失語が悪化した1症例……………276  
黒崎 修平<sup>1</sup> (くろさき しゅうへい)、黒後 祐美<sup>2</sup>、中里 圭祐<sup>2</sup>、福井 友美<sup>3</sup>、  
稲葉 貴恵<sup>2</sup>、船山 道隆<sup>4</sup>、浅川 洋平<sup>5</sup>、馬場 尊<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>足利赤十字病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>足利赤十字病院 リハビリテーション技術課、<sup>3</sup>九段坂病院、  
<sup>4</sup>足利赤十字病院 神経精神科、<sup>5</sup>足利赤十字病院 神経内科、<sup>6</sup>ふじあく医院

## ポスター会場 (12月7日(金) 2日目)

9:30~10:10 ポスター:半側空間無視 (1)

座長:網本 和 (首都大学東京 人間健康科学研究科)

- 2P1-1 半側空間無視における反応時間の空間分布特性  
—机上検査と日常生活場面の乖離を埋める新たな評価の視点— ……279  
藤井 慎太郎<sup>1,2</sup> (ふじい しんたろう)、高村 優作<sup>1,3</sup>、大松 聡子<sup>1,4</sup>、生野 公貴<sup>2</sup>、  
田中 幸平<sup>5</sup>、万治 淳史<sup>6</sup>、阿部 浩明<sup>7</sup>、森岡 周<sup>8</sup>、河島 則天<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室、  
<sup>2</sup>医療法人友絃会 西大和リハビリテーション病院、<sup>3</sup>医療法人穂翔会 村田病院、  
<sup>4</sup>国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部、  
<sup>5</sup>医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院、  
<sup>6</sup>IMSグループ埼玉みさと総合リハビリテーション病院、  
<sup>7</sup>一般財団法人広南会 広南病院、<sup>8</sup>畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
- 2P1-2 半側空間無視の諸症状とその回復過程  
—データベースから抽出した典型症例の症状と回復過程の分析— ……279  
高村 優作<sup>1,2</sup> (たかむら ゆうさく)、藤井 慎太郎<sup>1,3</sup>、大松 聡子<sup>1,4</sup>、今西 麻帆<sup>2</sup>、  
生野 公貴<sup>3</sup>、田中 幸平<sup>5</sup>、万治 淳史<sup>6</sup>、阿部 浩明<sup>7</sup>、森岡 周<sup>8</sup>、河島 則天<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション研究室、  
<sup>2</sup>医療法人穂翔会村田病院 リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>医療法人友絃会 西大和リハビリテーション病院、  
<sup>4</sup>国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部、  
<sup>5</sup>医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院、  
<sup>6</sup>TMSグループ医療法人三愛会埼玉みさと総合リハビリテーション病院、  
<sup>7</sup>一般財団法人広南会 広南病院、<sup>8</sup>畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
- 2P1-3 著明な右視線偏向を呈した半側空間無視症例の病態メカニズム  
—情動喚起画像を用いた評価と介入— ……280  
大松 聡子<sup>1,2</sup> (おおまつ さとこ)、赤口 諒<sup>3</sup>、奥埜 博之<sup>3</sup>、久岡 由依<sup>4</sup>、  
沖田 学<sup>4</sup>、高村 優作<sup>2,5</sup>、森岡 周<sup>2,6</sup>、河島 則天<sup>1,6</sup>  
<sup>1</sup>国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部、  
<sup>2</sup>畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室、  
<sup>3</sup>医療法人孟仁会 摂南総合病院、<sup>4</sup>医療法人新松田会 愛宕病院、  
<sup>5</sup>医療法人穂翔会 村田病院、<sup>6</sup>畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
- 2P1-4 3次元バーチャル空間を活用した半側空間無視症状評価の試み ……280  
田中 幸平<sup>1</sup> (たなか こうへい)、大石 裕也<sup>1</sup>、大塚 幸二<sup>1</sup>、高村 優作<sup>2,3</sup>、  
大松 聡子<sup>2,4</sup>、河島 則天<sup>4,5</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院、  
<sup>2</sup>畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室、  
<sup>3</sup>医療法人穂翔会 村田病院、  
<sup>4</sup>国立障害者リハビリテーション研究所 運動機能系障害研究部、  
<sup>5</sup>畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

- 2P1-5 運動画像視認時における半側空間無視症例の視線特性の定量的評価 ……281  
 大松 聡子<sup>1,2</sup> (おおまつ さとこ)、田中 幸平<sup>3</sup>、生田 純一<sup>4</sup>、高村 優作<sup>2,5</sup>、  
 森岡 周<sup>2,6</sup>、河島 則天<sup>1,6</sup>  
<sup>1</sup>国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部、  
<sup>2</sup>畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室、  
<sup>3</sup>医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院、  
<sup>4</sup>社会福祉法人農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター、  
<sup>5</sup>医療法人穂翔会 村田病院、<sup>6</sup>畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

10:10~10:50 ポスター：半側空間無視 (2)  
 座長：砂原 伸行 (金沢大学 医薬保健研究域保健学系 リハビリテーション科学領域)

- 2P2-1 左半側空間無視における Catherine Bergego Scale 下位項目による特性分析 ……281  
 鈴木 彩子<sup>1,2</sup> (すずき あやこ)、吉池 悠也<sup>1</sup>、網本 和<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>河北リハビリテーション病院 セラピー部、<sup>2</sup>首都大学東京 人間健康科学研究科
- 2P2-2 Virtual Reality System を用いた Extrapersonal Neglect の評価  
 —無視空間に乖離が生じた一症例— ……282  
 田村 正樹<sup>1,2</sup> (たむら まさき)、白川 真<sup>3</sup>、羅 志偉<sup>3</sup>、種村 留美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>朝日医療大学校 理学療法学科、<sup>2</sup>神戸大学大学院 保健学研究科、  
<sup>3</sup>神戸大学大学院 システム情報学研究科
- 2P2-3 右半側空間無視を呈し屋外歩行の獲得に至った一症例 ……282  
 森田 裕太郎 (もりた ゆうたろう)、小柴 美佳  
 社会医療法人社団大成会 長汐病院 リハビリテーション部
- 2P2-4 軽症意識障害と左半側空間無視の関係 ……283  
 関根 エリ子<sup>1</sup> (せきね えりこ)、平田 樹伸<sup>1</sup>、平井 良太<sup>1</sup>、武井 圭一<sup>1</sup>、  
 國友 淳子<sup>1</sup>、山本 満<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科
- 2P2-5 左半側空間無視における機能的結合性の変化—安静時 fMRI による検討— ……283  
 甲斐 慎介<sup>1</sup> (かい しんすけ)、上原 平<sup>2</sup>、福山 幸三<sup>3</sup>、原田 啓<sup>3</sup>、後藤 純信<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>九州大学大学院 医学研究院 臨床神経生理学、  
<sup>3</sup>社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院 脳神経外科、  
<sup>4</sup>国際医療福祉大学 医学部 生理学教室

9:30~10:26 ポスター：小児の高次脳機能障害  
 座長：上田 敬太 (京都大学医学部附属病院 精神科神経科)

- 2P3-1 低酸素性脳症により視覚認知障害を呈した小児症例の急性期経過と評価について ……284  
 平田 樹伸 (ひらた しげのぶ)、山本 満  
 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部

- 2P3-2 **発達性 Dyslexia 例における文の音読に視覚的キューが及ぼす影響** ……………284  
 渡辺 晃太<sup>1</sup> (わたなべ こうた)、小森 規代<sup>2</sup>、橋本 律夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学病院 リハビリテーション室、<sup>2</sup>国際医療福祉大学 言語聴覚学科、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学病院 神経内科
- 2P3-3 **小児ヘルペスウイルス脳炎後遺症として語想起障害をきたした 1 例** ……………285  
 島川 修一 (しまかわ しゅういち)、福井 美保、山崎 苗穂子、荻野 元子、  
 北原 光、玉井 浩  
 大阪医科大学附属病院 小児科
- 2P3-4 **高次脳機能障害のある子どもへの支援実態調査** ……………285  
 今橋 久美子<sup>1</sup> (いまはし くみこ)、深津 玲子<sup>1</sup>、中島 八十一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>国立障害者リハビリテーションセンター、<sup>2</sup>長野保健医療大学
- 2P3-5 **小脳髄芽腫の小児 2 例における放射線・化学療法前後の高次脳機能の特性と支援** …286  
 加藤 野百合<sup>1</sup> (かとう のゆり)、山脇 理恵<sup>1</sup>、田畑 阿美<sup>1</sup>、梅田 雄嗣<sup>2</sup>、  
 池口 良輔<sup>1,3</sup>、松田 秀一<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>京都大学医学部附属病院 小児科、<sup>3</sup>京都大学大学院 医学研究科 整形外科学
- 2P3-6 **言語半球の側性化の時期に関する検討**  
**—左大脳半球に主病変を認めるけいれん重積型急性脳症における検討—** ……………286  
 温井 めぐみ<sup>1,3</sup> (ぬくい めぐみ)、服部 有香<sup>1</sup>、日浦 麻緒<sup>1</sup>、小川 智江<sup>1</sup>、  
 草間 由実子<sup>1</sup>、永安 香<sup>1</sup>、内山 良則<sup>2</sup>、天羽 清子<sup>3</sup>、外川 正生<sup>3</sup>、九鬼 一郎<sup>4</sup>、  
 川脇 壽<sup>4</sup>、愛場 庸雅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター 小児言語科、  
<sup>2</sup>大阪市立総合医療センター リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>大阪市立総合医療センター 小児救急科、<sup>4</sup>大阪市立総合医療センター 小児神経内科
- 2P3-7 **学校生活期の失語のある子どもたちの支援ニーズ：在籍変更の有無による検討** ……287  
 廣瀬 綾奈<sup>1</sup> (ひろせ あやな)、吉野 真理子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 小児療法室言語聴覚科、  
<sup>2</sup>筑波大学大学院 人間総合科学研究科

<p>10:26~11:14 <b>ポスター：神経変性疾患・その他</b>          座長：大沢 愛子 (国立長寿医療研究センター リハビリテーション科)</p>
---

- 2P4-1 **行動障害の解析にバウムテストが有用であった行動異常型前頭側頭型認知症の 1 例** ……………287  
 福元 仁 (ふくもと じん)、西 真樹子、江口 悠介、橋本 学  
 国立病院機構 肥前精神医療センター 精神科

- 2P4-2 地域活動支援センターの取り組みで公共交通機関を利用し単独通所が可能になった  
頭部外傷の一症例 ……………288  
清水 大輔<sup>1</sup> (しみず だいすけ)、宮原 智子<sup>2</sup>、種村 留美<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>兵庫医療大学リハビリテーション学部作業療法学科、<sup>2</sup>地域活動支援センターWakaba、<sup>3</sup>神戸大学 生命・医学系保健学域
- 2P4-3 高次脳機能障害プロフィール入力支援ツール開発の試み ……………288  
上田 敬太<sup>1</sup> (うえだ けいた)、生方 志浦<sup>2</sup>、村井 俊哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 精神科神経科、  
<sup>2</sup>京都大学大学院 医学研究科 メディカルイノベーションセンター SKプロジェクト
- 2P4-4 右前大脳動脈領域の脳梗塞により軽度な高次脳機能低下を呈し、  
車の運転を含む社会復帰の評価に苦渋した症例 ……………289  
小川 志乃 (おがわ しの)、森仲 孝史、友安 青子、道弘 博之  
東広島医療センター リハビリテーション科
- 2P4-5 脳梗塞急性期患者の転帰先～大脳白質病変の重症度を考慮して～ ……………289  
箕田 智咲 (みだ ちさき)、木村 敦子、實 結樹、小野田 翔太、浜野 祐樹  
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科
- 2P4-6 公共交通機関利用時における高次脳機能障害者・失語症者の  
コミュニケーション支援ボードに対する意識調査 ……………290  
中山 剛 (なかやま つよし)、中島 八十一、深津 玲子、今橋 久美子、  
四ノ宮 美恵子、安部 恵理子、吉川 杏美、大畑 秀央、北條 具仁  
国立障害者リハビリテーションセンター

9:30～10:10	ポスター：認知リハ (6) 座長：豊倉 穰 (東海大学医学部附属大磯病院 リハビリテーション科)
------------	---

- 2P5-1 深部脳活動を賦活するオノマトペ産生と失語症治療への応用 ……………290  
今井 絵美子<sup>1,2</sup> (いまい えみこ)、片桐 祥雅<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>神戸大学大学院 保健学研究科、<sup>2</sup>神戸総合医療専門学校、  
<sup>3</sup>国立研究開発法人 情報通信研究機構
- 2P5-2 高次脳機能障害者の家族が家族会に繋がるまでの障害認識の変化について ……………291  
吉岡 朋実<sup>1</sup> (よしおか ともみ)、中村 勇輔<sup>2</sup>、山田 麻和<sup>2</sup>、足立 耕平<sup>3</sup>、  
井戸 裕彦<sup>4</sup>、松坂 誠應<sup>5</sup>、太田 令子<sup>6</sup>、片桐 伯真<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>長崎県スクールカウンセラー、<sup>2</sup>長崎北病院、  
<sup>3</sup>長崎純心大学 人文学部 地域包括支援科、  
<sup>4</sup>長崎県こども・女性・障害者支援センター、<sup>5</sup>長崎リハビリテーション病院、  
<sup>6</sup>聖隷三方原病院

- 2P5-3 **高次脳機能障害支援における多職種連携に関する考察** ……………291  
 瀧澤 学<sup>1</sup> (たきざわ がく)、目黒 祐子<sup>2</sup>、森戸 崇行<sup>3</sup>、中島 裕也<sup>4</sup>、  
 藤山 美由紀<sup>5</sup>、和田 明美<sup>6</sup>、伊賀上 舞<sup>7</sup>、石原 弥生<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>神奈川県総合リハビリテーション事業団、  
<sup>2</sup>東北医科薬科大学病院 リハビリテーション部、  
<sup>3</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター、<sup>4</sup>福井総合クリニック 作業療法室、  
<sup>5</sup>社会医療法人宏潤会大同病院、<sup>6</sup>福岡市中心身障がい福祉センター、  
<sup>7</sup>松山リハビリテーション病院、<sup>8</sup>山口県立こころの医療センター
- 2P5-4 **就学期発症の高次脳機能障害と成人期までの移行支援について** ……………292  
 寫田 裕子<sup>1,2</sup> (しまだ ゆうこ)、丹治 正大<sup>2</sup>、上田 敬太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 精神科神経科、<sup>2</sup>京都大学医学部附属病院 脳神経外科
- 2P5-5 **高次脳機能障害者の福祉的就労による IADL の変化** ……………292  
 成塚 陽太<sup>1</sup> (なりづか ようた)、船山 道隆<sup>2</sup>、中村 智之<sup>1</sup>、松川 勇<sup>1</sup>、  
 中島 明日佳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>足利赤十字病院 リハビリテーション科部、<sup>2</sup>足利赤十字病院 神経精神科

10:10~10:58	ポスター：認知リハ (7)	座長：田淵 肇 (慶應義塾大学 医学部 精神神経科)
-------------	---------------	----------------------------

- 2P6-1 **術前と術後早期からの介入で長期記憶障害に対する理解が促進された脳腫瘍患者 1 例**  
 ……………293  
 山脇 理恵<sup>1</sup> (やまわき りえ)、上田 敬太<sup>2</sup>、荒川 芳輝<sup>3</sup>、馬場 千夏<sup>1</sup>、村井 俊哉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>京都大学大学院 医学研究科 精神医学、  
<sup>3</sup>京都大学大学院 医学研究科 脳神経外科学
- 2P6-2 **他医療機関からの運転評価紹介の傾向と課題～高次脳機能障害者の自動車運転再開～**  
 ……………293  
 小倉 由紀<sup>1</sup> (おぐら ゆき)、石田 理江子<sup>1</sup>、赤荻 英理<sup>2</sup>、吉永 勝訓<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター、  
<sup>2</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 診療部
- 2P6-3 **高次脳機能障害者の地域活動移行における課題  
 ～高次脳機能障害支援センター集団活動を通して～** ……………294  
 前島 潤子<sup>1</sup> (まえじま じゅんこ)、小倉 由紀<sup>1</sup>、廣瀬 綾奈<sup>2</sup>、揚戸 薫<sup>1</sup>、  
 小菅 倫子<sup>1</sup>、磯部 ゆい<sup>1</sup>、田中 葉子<sup>1</sup>、坂田 宏<sup>1</sup>、吉永 勝訓<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター、  
<sup>2</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション療法部、  
<sup>3</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 診療部
- 2P6-4 **青年期の当事者がもつ社会参加に向けた課題と支援  
 ～レディネスグループプログラムの報告～** ……………294  
 小菅 倫子<sup>1</sup> (こすげ ともこ)、小倉 由紀<sup>1</sup>、磯部 ゆい<sup>1</sup>、赤荻 英理<sup>2</sup>、吉永 勝訓<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター、  
<sup>2</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 診療部

- 2P6-5 高次脳機能障害者に対する生活版ジョブコーチ支援～ヘルパー支援の課題～ ……295  
揚戸 薫<sup>1</sup> (あげと かおる)、田中 葉子<sup>1</sup>、前島 潤子<sup>1</sup>、吉永 勝訓<sup>2</sup>、小倉 由紀<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター、  
<sup>2</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター 診療部
- 2P6-6 働き続けることに焦点をあてたグループプログラム  
—『職場でのコミュニケーションを良くする会』の試み— ……295  
山口 加代子 (やまぐち かよこ)、玉井 創太、小西 隆史、田代 知恵  
横浜市総合リハビリテーションセンター 機能訓練課